

Title	目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1991
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.64, No.12 (1991. 12) ,p.7- 8
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	人見康子教授退職記念号
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19911228-0007

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

目 次

序	堀 江 湛……………五
民法七八七条但書と認知請求訴訟・父子関係存在確認訴訟	石 川 明……………九
——最高裁平成二年七月一九日第一小法廷判決を中心にして——	
不法行為責任の時効起算点とその原理的課題	内池慶四郎……………三
取壊しの合意された建物の譲渡と登記請求権	新 田 敏……………四
夫婦財産法上の合意と所得の人的帰属	木村弘之亮……………六
一八八三年・プロイセン「不動産強制執行法」中の強制抵当権制度	斎藤和夫……………三三
——プロイセン法展開の最後の到達点——	
對抗要件主義に関するボワソナード理論	七 戸 克 彦……………一五
フランスにおける許害的賃貸借排除の法理	片山直也……………二五
——民法三九五条但書の解釈にむけて——	
イタリヤにおける離婚法適用の状況	松 浦 千 誉……………三七
——公式統計による実態の紹介——	

家族財産における労働の法的評価……………	永山 榮子……………	三五
—— 夫婦の財産関係と家事・育児・介護を中心にした考察——		
ウィスコンシン州の夫婦財産制……………	小石 侑子……………	三九
—— 若干の具体的問題をめぐって——		
企業財団の最近の動きと企業財団による株式保有の問題点……………	雨宮 孝子……………	三五
人見康子 教授 略歴・主要業績……………		四三